



愛知県芸術劇場 小ホール

サウンドパフォーマンス・プラットフォーム特別公演

安野太郎

ZOMBIE MUSIC
TARO YASUNO

『大霊廟Ⅳ - 音楽崩壊 -』

2023.10.14 SAT & 10.15 SUN

『大霊廟Ⅳ - 音楽崩壊 - 』

2023年10月14日(土) 14:00開演、18:30開演・15日(日) 13:00開演 開場は開演の30分前

写真『大霊廟Ⅲ』より 提供：京都芸術センター 撮影：松見拓也

『大霊廟Ⅳ - 音楽崩壊 - 』について

2012年から継続している作曲家・安野太郎のライフワーク「ゾンビ音楽」は、その特異な音楽とビジュアルイメージを伴って世界的な評価を得てきた。元々「ゾンビ」という存在を通して現実の社会へのまなざしを持っていたゾンビ音楽は、近年において実際に取材やインタビューを通して実社会に切り込み、その現実を音楽と共に舞台上に上げるという手法を獲得しつつある。

いま、安野の前にはふたつの現実がある。「音楽大学を出ても音楽家として食べてゆくのには困難な社会」という現実。そして「困難な人生を歩むことになるであろう音大生たちを指導する立場になった音大教員としての自分」という現実だ。かつてフリーの音楽家としての自分を貧乏のどん底に突き落とした「音大」に、今度は教員として参加する立場になってしまった。

そこに現れるのは「改革すべきシステム」なのか「一流音楽家のための夢の城」なのか、またはそれ以外の曖昧な何かなのか。現代社会の奇妙な存在「音大」の姿を、安野の自己像を投影するかのようにはぎ揺れ動く「ゾンビ」たちの振る舞いから浮かび上がらせようとする「ミュージック&ドキュメンタリー」の試みである。

作曲・作・演出など：安野太郎
出演：今井貴子（フルート奏者）、大内孝夫（名古屋芸術大学教授・『音大崩壊』著者）ほか
映像・演出補・ブレン：小野寺啓
舞台監督：渡部景介
音響：山口剛（合同会社ネクストステージ）
照明：畔上康治（愛知県芸術劇場）
制作：菅井一輝
プロデューサー：藤井明子（愛知県芸術劇場）
後援：愛知県立芸術大学

ゾンビ音楽とは

安野太郎による、ゾンビと呼ばれる自動演奏ロボットが笛を演奏する音楽のプロジェクト。笛を演奏する為の運指をnビット（リコーダーの場合は8ビット）の数列に見立て、その数列を構成することによって作曲されている。このような数理的な作曲法や必ずしも正確に動作するわけではない手製の自動演奏装置から紡がれる音楽は、普通の人間の感覚からすると西洋音楽等のハーモニーから外れた「不正確な音楽」に聴こえることになる。このことを正常な人間に対する不正確な存在である「ゾンビ」になぞらえて、正常な音楽に対して「ゾンビ音楽」と呼んでいる。ここでは「正確」であることは果たして音楽にとって本当に重要なことであるのか？という疑問と共に、果たして「正確な人間」などというものは存在するのだろうか？という安野の人間観も現れている。

これまで2枚のアルバム（『DUET OF THE LIVINGDEAD』『QUARTET OF THE LIVINGDEAD』）を、pboxxレーベルよりリリース。2015年のF/T15参加をきっかけに、大型のふいご装置によるゾンビ音楽のスタイルが完成。以降この装置による編成を「大霊廟」と呼んでいる。17年、この編成による作品『大霊廟』（岐阜県美術館）で、清流の国ぎふ芸術祭 Art Award IN THE CUBE 2017 審査員賞（高橋源一郎）。22年には『大霊廟Ⅲ - サークル・オブ・ライフ -』（京都芸術センター）を成功させた。

安野太郎 TARO YASUNO

作曲家。1979年生まれ。日本人の父とブラジル人の母を持つ。いわゆるDTMやエレクトロサウンドとしてのコンピューター・ミュージックとは異なる軸で、テクノロジーと向き合う音楽を作っている。代表作に『音楽映画』シリーズ、『サーチエンジン』、自作自動演奏楽器の演奏による『ゾンビ音楽』シリーズ。

近年の活動に「大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ」参加（2021）、個展「安野太郎：アンリアライズド・コンポジション『アイコン 2020-2025』」（アートフロントギャラリー/2020）、「Cosmo-Eggs | 宇宙の卵」（第58回ヴェネチア・ビエンナーレ国際美術展 日本館代表作家チームとして/2019）等。愛知県芸術劇場では、07年第2回サウンド・パフォーマンス道場オーディエンス賞受賞、16年「パフォーミングアーツ・セレクション」出演。第7回JFC作曲賞（日本作曲家協会）、第10回創造する伝統賞（日本芸術文化財団）受賞。東京音楽大学作曲科卒業。情報科学芸術大学院大学（IAMAS）修了。2023年現在、愛知県立芸術大学准教授。



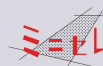
【全席自由・入場整理番号付】
料金：3,000円/U25 1,000円 発売開始：9/15（金）10:00-
※未就学児入場不可。託児サービスあり（有料・要予約）
※U25は公演日に25歳以下対象（要証明書）
※車いすでご来場の方は、チケット購入後、劇場までご連絡ください。
チケット取扱い：愛知県芸術劇場オンラインチケットサービス
<https://www-stage.aac.pref.aichi.jp/event/>
愛知芸術文化センタープレイガイド（地下2階）
TEL 052-972-0430 10:00-19:00（土日祝休-18:00）
（月曜定休/祝休日の場合は翌平日）



託児サービス（10/15日（日）公演のみ）
対象：満1歳以上の未就学児 料金：1名につき1,000円（税込） 申込締切：10月7日（土）
託児お申込み・お問合せ：
オフィス・レット株式会社 TEL 0120-353-528（携帯からは052-562-5005）
受付時間 月-金 9:00-17:00、土 9:00-12:00、日・祝日は休業

会場 愛知県芸術劇場小ホール（愛知芸術文化センター地下1階）
〒461-8525 名古屋市東区東桜1-13-2
アクセス：地下鉄 東山線または名城線「栄」駅下車、徒歩5分
名鉄 瀬戸線「栄町」駅下車、徒歩5分
（いずれもオアシス21 地下連絡通路または2F 連絡橋経由）

主催・お問合せ 愛知県芸術劇場
TEL 052-211-7552（10:00-18:00）
FAX 052-971-5541
〒461-8525 名古屋市東区東桜1-13-2
E-mail contact@aaf.or.jp
<https://www-stage.aac.pref.aichi.jp>



※やむを得ない事情により、出演者等が変更になる場合があります。